わたしたちの環境活動 ・SDGs活動

沖縄県立北部農林高等学校

エコ部 平和の茶木復活チーム

沖縄県名護市字宇茂佐１３番地

今復活　沖縄戦を乗り越えた奇跡の木

～平和の象徴を未来へ　もう幻とは言わせない～

伝統ある沖縄のお茶の中で香りが高く、最高級品種にも匹敵すると言われたのが、平和の象徴と呼ばれた山城茶です。1935年に茶業組合が設立され、植え付けがはじまりました。しかし、生産者の高齢化や後継者不足、製茶工場の故障により、茶畑の大半が耕作放棄地となり2013年に生産が途絶えます。沖縄県は復帰後まで、お茶栽培が盛んに行われていましたが、現在では、規模も縮小し本島北部地域で栽培が行われているのみです。伝統ある沖縄のお茶の中において、唯一の在来種で、日本国内でわずか３％しかない貴重な在来茶です。地域をまとめ、平和の象徴と言われた茶の木を復活させ、お茶を使った商品開発を行い、未来へ繋ぐ取り組みを行っています。